
夏のリコチャレ 2022

総括



令和4年10月17日
内閣府男女共同参画局・文部科学省

科学技術・学術分野における現状と課題

内閣府の取組

文部科学省の取組

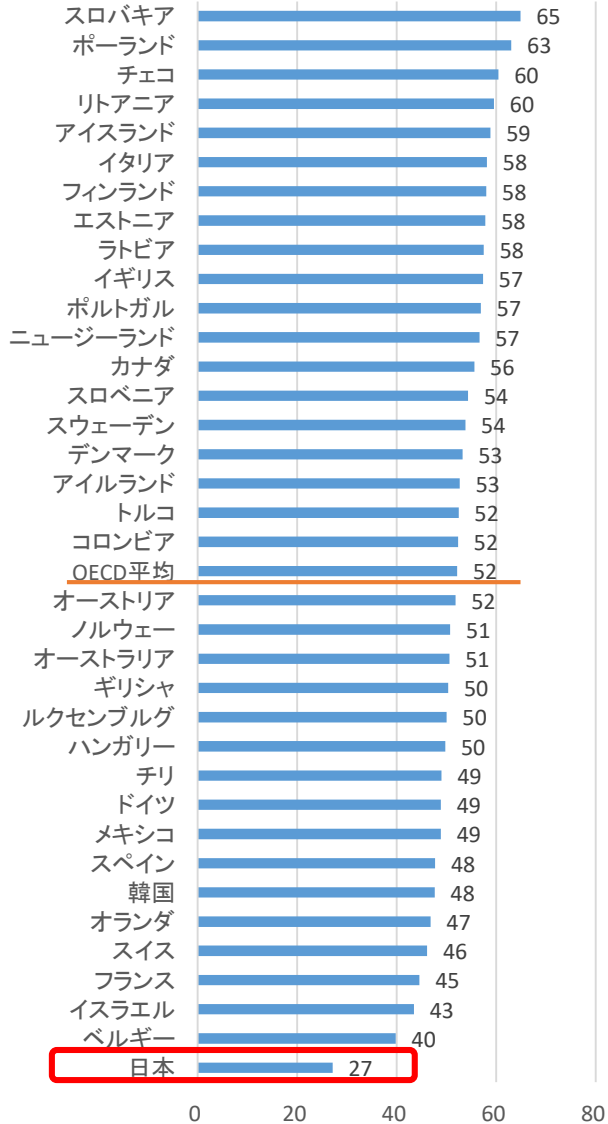
夏のリコチャレ2022振返りと2023に向けて

科学技術・学術分野における現状と課題

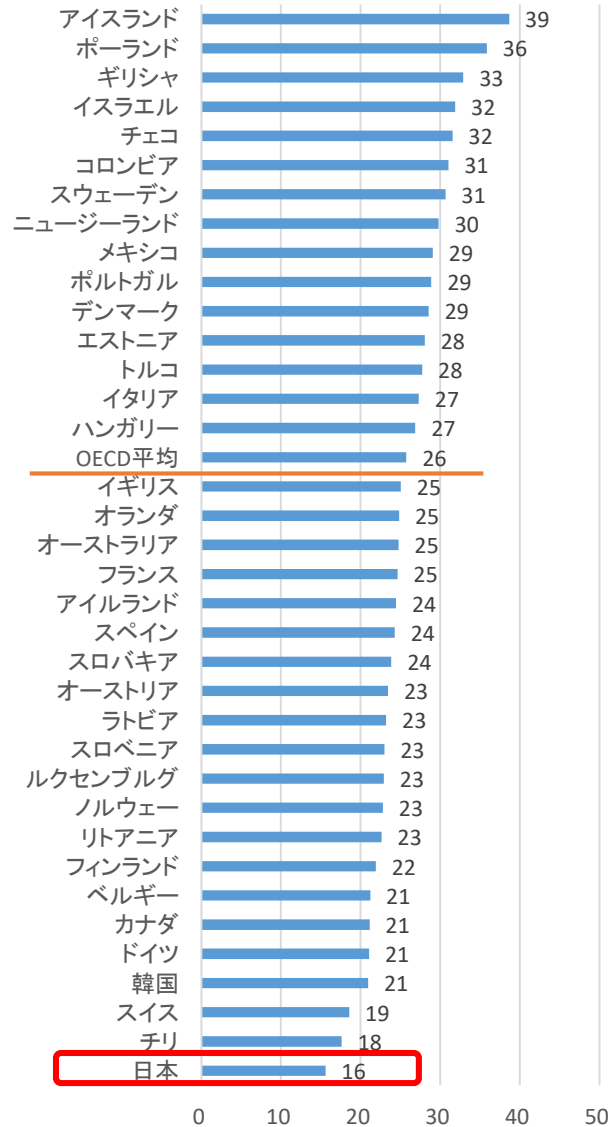
科学技術・学術における男女共同参画の推進に係る現状

OECD2021 大学等入学者女性割合

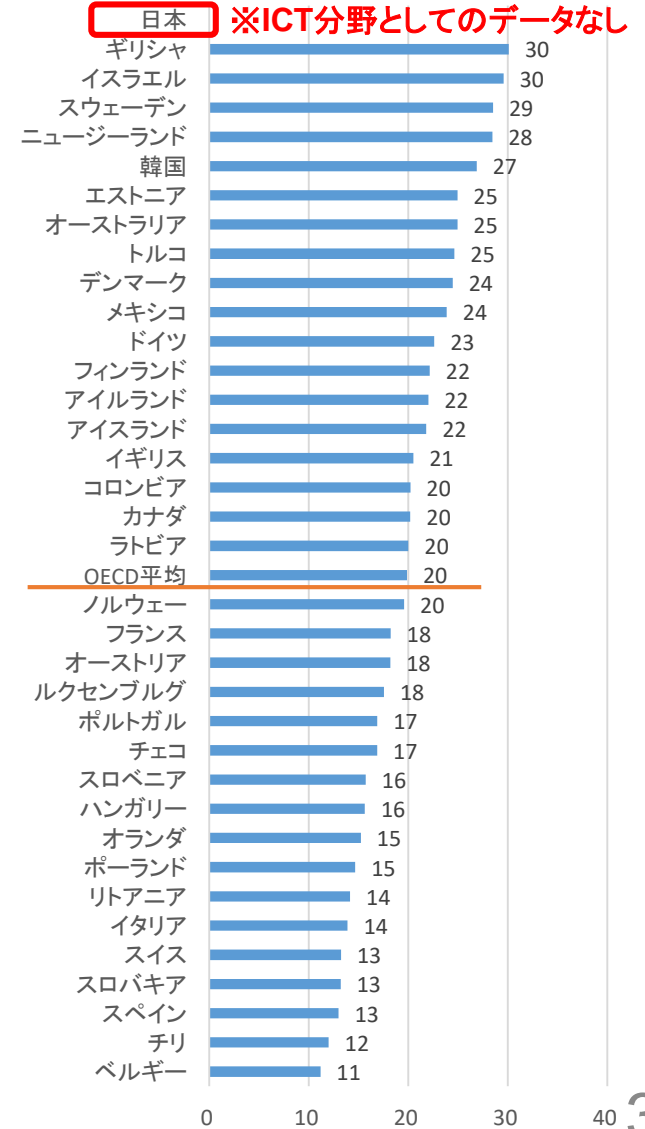
Natural sciences, mathematics and statistics



Engineering, manufacturing and construction



Information and Communication Technologies (ICTs)



※OECD.statより作成

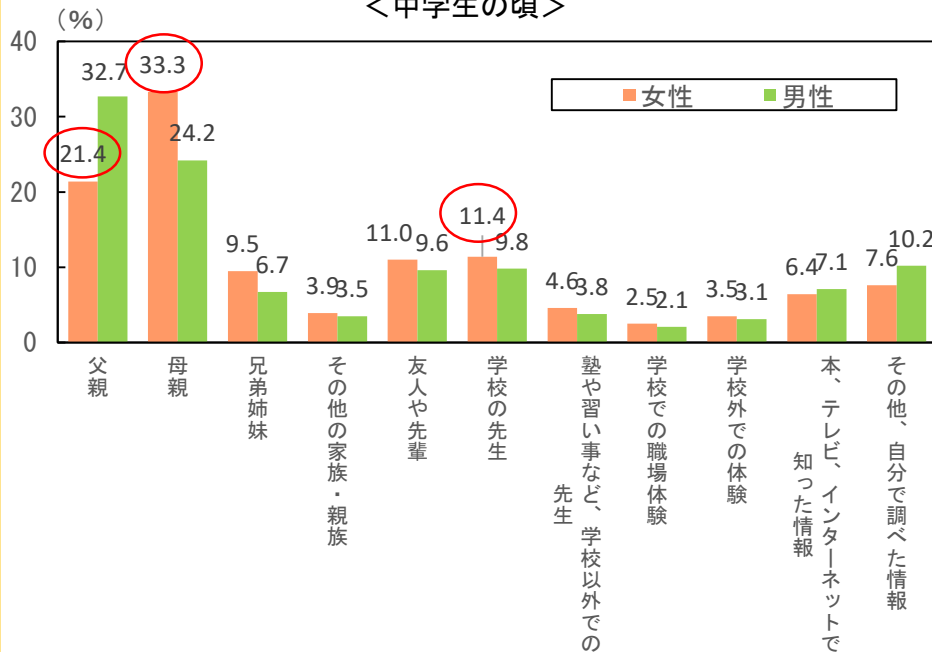
女子の進路選択への親の影響について

～内閣府委託調査より～

- 中学生の頃に、働く上でのイメージや進路選択において影響を受けた人は、女性は母親、男性は父親と、同性の親の影響を顕著に受けている。
- また、女性保護者の最終学歴が理系の場合、その子(女子)は、将来の進路を「理系」とする割合が高くなっている。

進路選択において影響を受けたもの

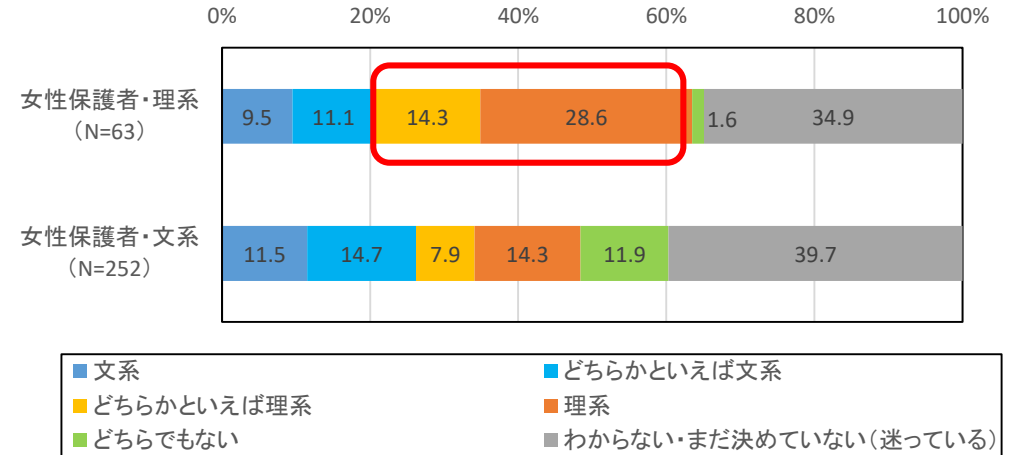
<中学生の頃>



※出所:「多様な選択を可能にする学びに関する調査」
(平成30年内閣府調査)

女性保護者の最終学歴とその子(女子)の進路意向

(進路意向)

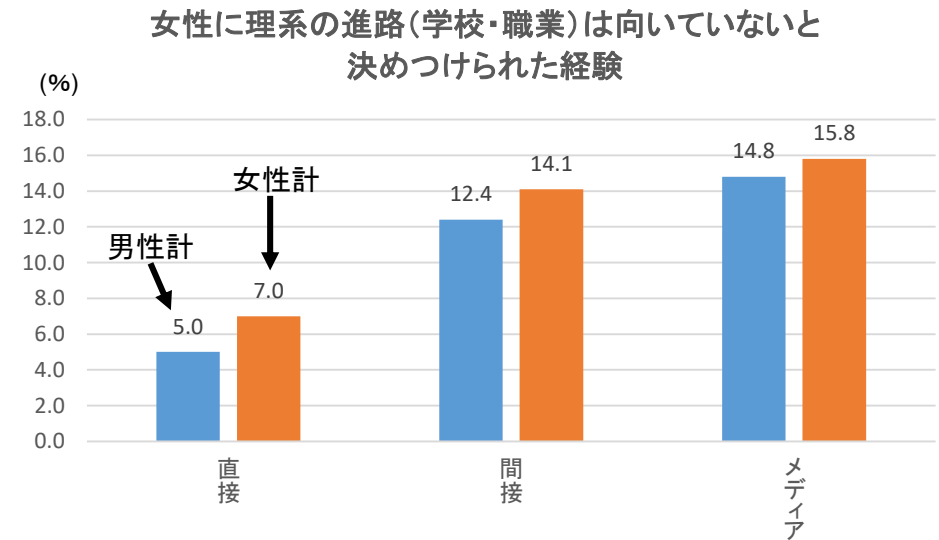
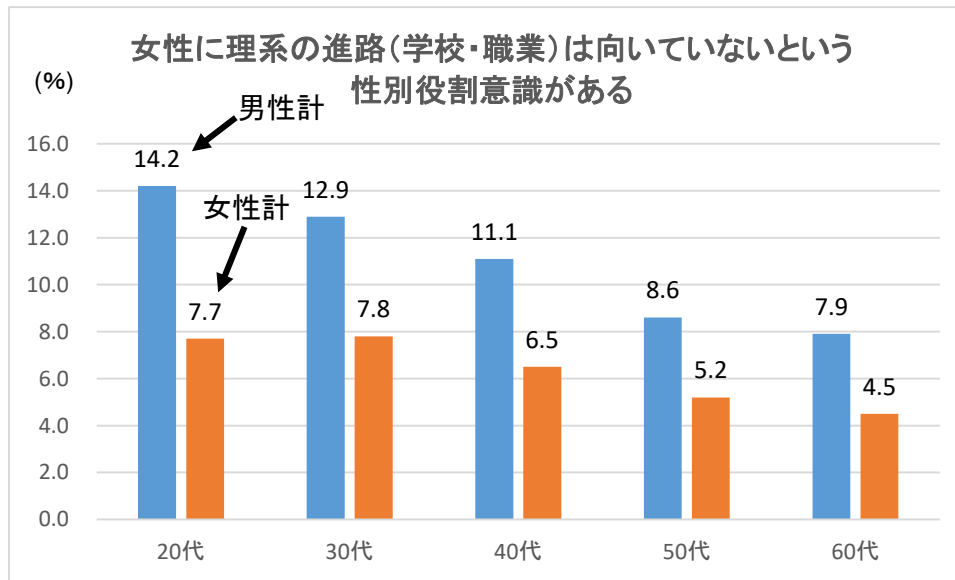


※出所:「女性生徒等の理工系進路選択支援に向けた生徒等の意識に関する調査研究」(平成29年内閣府調査)
調査対象は中学2年生。

理系の進路選択に関するアンコンシャス・バイアスについて

～「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究より～」

- 「女性に理系の進路(学校・職業)は向いていない」という測定項目について、「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答した者の割合は、いずれの世代でも男性の方が高い。
- 一方、そうした考えを決めつけられた経験のある女性の割合は、直接・間接を問わず、男性より多い。また、メディアで見たり聞いたりしたことがあると回答した者の割合は、男女ともに約15%となっている。
こうした経験が女子学生の進路選択に影響を与えていることも考えられる。



※【直接】直接言われたり聞いたりしたことがある
【間接】直接ではないが言動や態度からそのように感じたことがある
【メディア】メディアで見たことがある

※出所:内閣府男女共同参画局
令和3年度性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究

内閣府の取組

理工チャレンジ (リコチャレ!) ~女子生徒等の理工系への進路選択を促進~



リコチャレは、女子中高生等が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択することを応援するため、平成17年(2005年)より内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取組です。

取組

夏のリコチャレ

- ・夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
- ・内閣府・文科省・経団連がサポート

理工系女子 応援ネットワーク会議

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- ・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

募集

リコチャレ応援団体

理工チャレンジの趣旨に賛同する
大学・企業・学術団体等 **862** 団体
令和4年9月現在

理工系女子 応援ネットワーク

リコチャレ応援団体のうち、具体的な
支援を行う団体 **210** 団体
令和4年9月現在

ウェブサイト

「理工チャレンジ」

- ・イベント情報
- ・ロールモデル情報
- ・団体からの応援メッセージ



シンポジウム

- ・有識者や実際に活躍する女性研究者
- ・技術者(ロールモデル)による情報発信
- ・IT業界で活躍する女性(ロールモデル)提示等

女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての調査研究(令和3年度)

「STEM Girls Ambassadors」によるロールモデルの紹介

リコチャレ応援団体(※)の紹介、イベント等の掲載。そのほか、先輩理工系女性からのメッセージを掲載するとともに、質問も可能。

※862団体(行政機関:50団体、企業:264団体、学術・研究機関等:139団体、大学等:368団体、その他:41団体)

「リコチャレ応援団体」「理工系女子応援ネットワーク」の紹介

▶団体個別一覧に戻る▶企業一覧に戻る



旭建設株式会社

宮崎県日向市向江町1丁目200番地
▶[旭建設株式会社](#) へ

組織概要

「便利になった」「近くなった」「安心して暮らせる」「ありがとう」
ただその言葉をもらうだけでいい。家族に持たせる仕事、四方よし(地域よし、実業者よし、企業よし、未来もよし)を目指して、昭和34年以来築き上げた経験を活かし、「土木の道」を追求しています。
「地域よし」として地域に密着したボランティア活動(地域貢献活動)を、「実業者よし」として高品質の工事を完了させ、「企業よし」として社員の人間力向上を目指し、「未来もよし」として未来を担う子供たちに気づきの心を育ませています。
当社は土木工事の施工管理を主な仕事としており、建設・土木科出身の技術者だけでなく、様々な学科の人間が活躍しています。そして「常に考える」の精神で、危険ゼロを目指し、安全と健康の確保を最優先としながら業務を行い、継続し続ける会社であり続けています。



(平成30年3月完成)南城市改良工事



(平成29年11月完成)種子田法面工事①

理工系分野・部門の紹介

当社は、舗装や法面・護岸・橋梁・トンネルといった主に官公庁の土木工事一式を行う建設業です。暮らしやすい世の中にし、豊かな地域や国土を子供や孫の代まで残していくため日々仕事に励んでいます。
当社の仕事は施工管理です。施工管理とは、工程管理や安全管理、品質管理などを現場で行い、実業者との打合せや現場での指導を行う現場管理や監督業務が主な仕事ですので、女性の技術者でも大いに活躍できる仕事です。現在では、多くの建設の企業で女性技術者が最前線に立って活躍しています。
<<新人女性技術者の一日>>

♥入社2年目♥

酒井希実さん(23歳)の1日

5:30	起床
7:25	現場へ到着
7:30	朝礼、KY活動
8:00	現場点検、写真撮影、出発準備など
9:00	業務作成、接客
12:00	昼休み
12:45	午後の打ち合せ

協力業者さんの
コミュニケーションを大切に
一日の作業内容を確認♪

自分自身が作った、ついでに
協力業者さん、自然の環境を♪

協力業者さんへお礼の差し入

理工チャレンジ

女子中高生・女子学生の理工系分野への選択



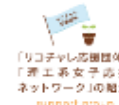
リコチャレとは?
What's Rico-challenge!



リコチャレ
イベント情報
event information



先輩からの
メッセージ
message



「リコチャレ応援団体」
「理工系女子応援
ネットワーク」の紹介
support group



「リコチャレ応援団体」
「理工系女子応援
ネットワーク」への参加
for university
and corporation



STEM Girls Ambassadors
(理工系女子応援大使)
ご協力
STEM Girls Ambassador

先輩からのメッセージ

▶先輩からのメッセージのトップページに戻る▶



酒井 希実さん

▶[旭建設株式会社](#) 工事前アセットマネジメント部門

2017年に入社し、工事全体の管理やICT関連業務など、現場に携わるお仕事をごこなす、土木技術者として働き出し二年が経ちました。大学を卒業するまで、土木についての勉強をしたことばかりでしたが、その分、日々新しい発見があり毎日が勉強で、充実した日々を送っています。

先輩に
質問!

理工系分野を選択した時期・理由

短大2年生の時に、合同説明会で聞いた「地固に残る仕事」「地域の為の仕事」という言葉に感銘を受けて入社を決めました。自分の住んでいるところが自然に囲まれていることもあり、自然に携わる仕事がしたいと思ったこと、そしてずっと住んで来た地元の為にかかしたい!そう思ったことも土木技術者の道に進むきっかけになりました。

現在の仕事(研究)の魅力やおもしろさ

橋を架けたり、道路を作ったり、様々な工種を経験できることが魅力的です。そして、現場は毎日少しずつ完成に近づいていく、そんな日々変わる現場を間近で見られることも、現場に携わる人たちの情熱だと思います。そして、学生の頃に経験した「何かを成し遂げる為に、みんなで頑張る」という行為も経験できます。それも、現場毎に関わる人が違う為、その都度新しい喜びを得ることが出来ます。
『誇りした分、達成感がある』建設業界にはこの言葉がピッタリだと思います。

女子中高生・女子学生の皆さんへのメッセージ


『土木』と聞くと、毎日汗を流し、泥まみれになりながら頑張る仕事...そんなイメージをもたれる方が多いと思います。私もそう思っていました。実際は3次元のデータを作成したり、業者の方と打ち合わせをしたり、対外的な仕事が大半を占めています。安全かつ期限内までに工事が完了できるように様々な仕事をこなしていく、それが建設業です。普段行気なく通っている橋や道路を、実際に作る側になると、ありがたいなと思うことが増えました。前に担当していた現場では高速道路の基礎をつくる工事をしていましたが、その場所を通るたびに「私が関わった場所だ」と達成感を見えます。私達の仕事は、今も未来も大切にするお仕事です。自分の大好きな地域を守り、支えていける建設業界と一緒にチャレンジしてみませんか?

シンポジウム

・内閣府・文部科学省・JSTの共催 ・女子中高生、保護者、教員等を対象

2022年度オンラインシンポジウム 公開：令和4年7月12日～

進路で人生どう変わる？ 理系で広がる私の未来2022 動画公開セミナー



基調講演

秋山 茉莉子

AKIYAMA Mariko
東京大学大学院工学系研究科
博士3年

プロフィール

1995年、東京府出身。東京大学工学部を卒業後、同大学院新領域創成科学研究科に進学し修士号を取得。2020年、同大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻に進学し、現在博士課程3年。学部4年から所属する研究室において、小型衛星向けのエンジンの研究を遂行。研究の傍ら、小型衛星開発プロジェクト2件にもエンジン開発チームとして参加している。

理系で広がる
私の未来
2022



『あなたの「好き」を追いかけてみよう
～理系志望の皆さんへ～』

講演

富島 寛

TOMISHIMA Hiroshi
一般財団法人 山田進太郎D&I財団
常務理事

プロフィール

早稲田大学第一文学部卒業。2013年、財団の理事長である山田と共にメルカリを創業。プロダクト責任者としてメルカリの立ち上げ、サンフランシスコでアメリカ版の立ち上げなどを行う。2019年退社し、現在は財団の活動と共にエンジェル投資家などを行っている。

理系で広がる
私の未来
2022



『好きなことをやろう！
～理系進路を当たり前に女性が選択できる社会へ～』

理系で活躍する先輩による経験談発表

田端 愛恵

TABATA Itoe
株式会社大島造船所 基本設計部 基本設計2課 性能開発係

プロフィール

1995年、長崎県出身。中学の頃から理系科目（化学や数学）が得意であり、高校では理系を選択。大学では化学系を専攻し、大学4年生から大学院2年生までの3年間は大学の研究室へ配属。研究室では主に有機金属化学という分野の専攻で、環境問題の解決に繋がる「人工光合成」の研究を行っていました。大学院卒業後は新しい分野を経験したいと考え、2020年に株式会社大島造船所に入社。現在は船の設計に携わっています。

理系で広がる
私の未来
2022



『私が理系を選んだきっかけ
少しの興味から可能性は広がる』

門脇 万里子

KADOWAKI Mariko
国立研究開発法人 物質・材料研究機構
研究員

プロフィール

1993年、三重県出身。東北大学工学部を卒業後、東北大学大学院工学研究科に進学し、2021年3月に修士号を取得しました。その後、2021年4月に国立研究開発法人 物質・材料研究機構に就職し、現在2年目の研究員として働いています。私たちの日常生活に欠かすことのできない「金属材料」の耐食性を向上することを目的に、日々研究に取り組みしています。

理系で広がる
私の未来
2022



『研究職での仕事内容と理系への進路選択のきっかけ』

阿部 花織里

ABE Kaori
山形大学大学院 理工学研究科 建築・デザイン・マネジメント専攻
博士前期課程 1年

プロフィール

1999年、福島県出身。高校卒業後、山形大学工学部建築・デザイン学科に入学。卒業論文では、木を用いた住宅地震改良の沈下抑制に関する実験的研究を行った。現在、同大学大学院理工学研究科建築・デザイン・マネジメント専攻、博士前期課程1年。

理系で広がる
私の未来
2022



『選択の先で出会えたこと、建築で学ぶ今』



主な活動

1. 地方公共団体や学校等において開催されるセミナー、シンポジウムでの講演等
2. 広報誌やWebサイト上でのメッセージ発信
3. その他本事業の趣旨に鑑み相応しい活動

女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進するため、理工系分野で活躍する多様な女性の姿（ロールモデル）を示すとともに、女子生徒等の理工系進路選択を社会全体で応援する気運醸成を図ることを目的。

Ambassador一覧（令和4年9月時点） ※敬称略・五十音順

阿部 玲子	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル インド現地法人 取締役会長
杉本 雛乃	学生（東京大学大学院工学研究科バイオ エンジニアリング専攻・2018ミス・インターナシ ョナル日本代表）
ズナイデン 房子	日本マクドナルド株式会社 取締役上席執行役員 CMO
玉城 絵美	H2L, Inc. CEO、琉球大学工学部教授
中島 さち子	音楽家、数学研究者、 (株)steAm代表取締役
山崎 直子	宇宙飛行士
渡辺 美代子	科学技術振興機構 シニアフェロー

Ambassadorsからのメッセージ動画を
リコチャレHP及びYoutubeにて公開中！

講演実績

実施日	イベント	実施日	Let's be s STEM GIRL!! ～地域から未来の理工系女子を～会場
18/9/22	政府広報ラジオ	19/9/1	青森県弘前市
18/10/16	連携会議「次世代への働きかけ」 チーム活動	19/9/21	群馬県桐生市
18/10/24	ユース・ラウンド・テーブル	19/10/5	長崎県長崎市
18/11/10	サイエンスアゴラ	19/10/14	岩手県花巻市
18/12/15	愛知県主催「いいかも！リケイ」 理系応援事業	19/11/4	京都府舞鶴市
19/2/2	大阪市・学校法人追手門学院 共催イベント	19/11/10	福岡県古賀市
19/3/17	講談社Rikejo ミライリケジョ モノづくりカフェ	19/11/16	愛知県刈谷市
19/6/8	理系で広がる私の未来2019	19/11/23	長野県伊那市
19/8/24	香川県リケジョフェスタ	19/12/1	鳥取県琴浦町
22/8/23	栃木県理工系女子のWorkフェ スタ2022	19/12/15	千葉県木更津市
22/8/24	栃木県理工系女子のWorkフェ スタ2022		
22/10/4	学校法人星野学園		

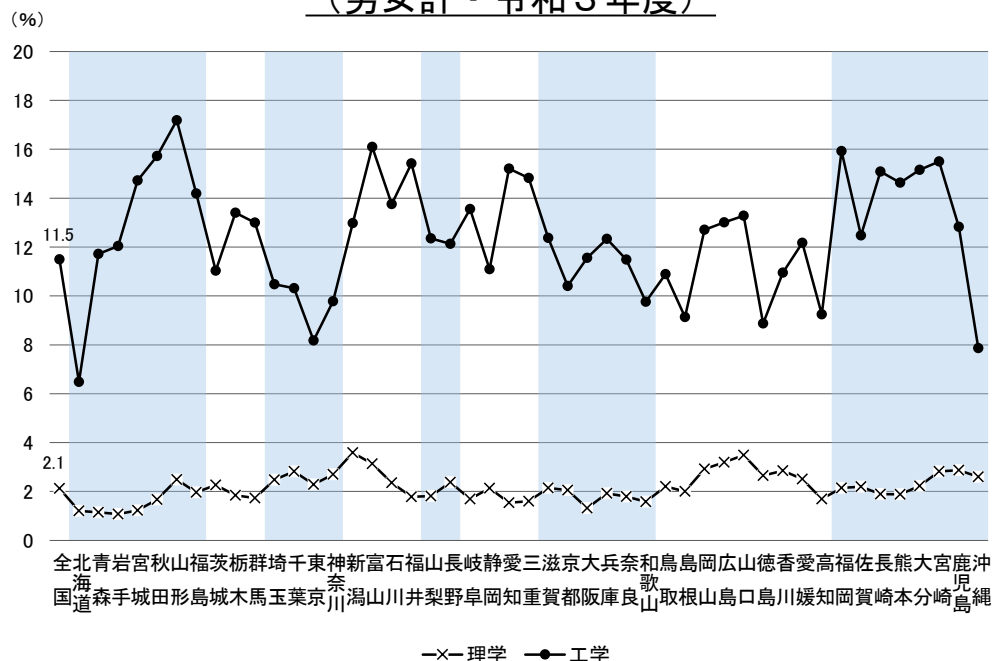
※講演参加者計：1,333名
※2020～21年度は新型コロナウイルス
感染拡大により派遣実績なし。

理工系分野への女性の進学状況（統計に基づく集計・分析）

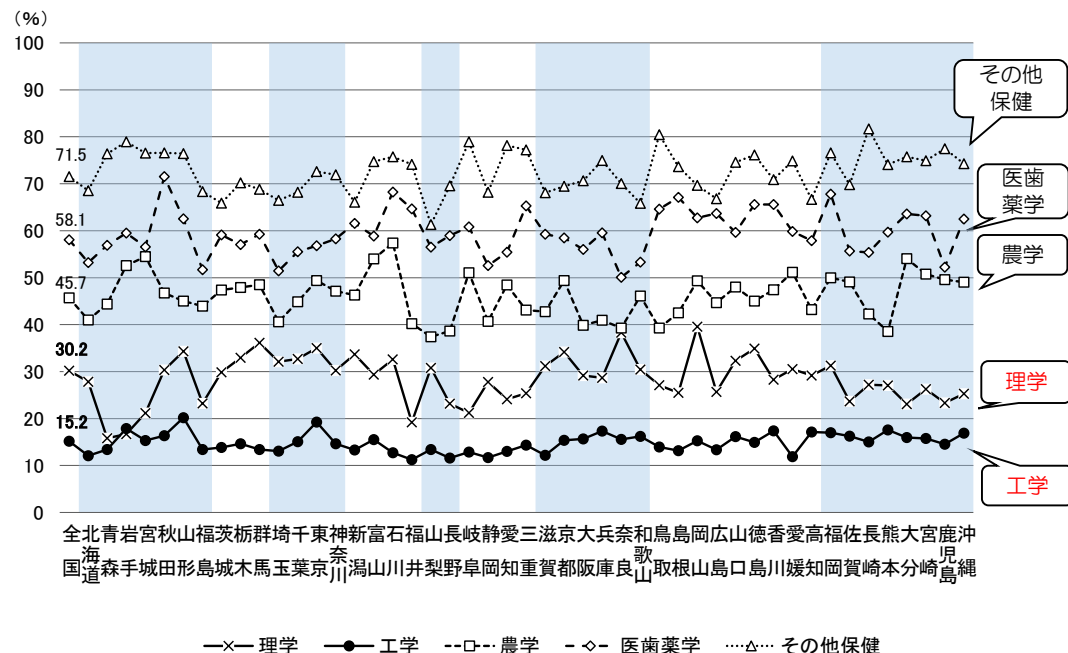
令和3年度 内閣府調査「女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての調査研究」

- 大学入学者に占める理工系分野入学者の割合は、全国では「理学」が2.1%、「工学」が11.5%。
- 分野別にみた、入学者に占める女性比率の全国数値は、「理学」分野が30.2%、「工学」分野が15.2%。都道府県によっても開きがみられる。

図表1 大学入学者に占める理工系分野入学者の割合
(男女計・令和3年度)



図表2 分野別入学者に占める女性比率
(令和3年度)



出典) 文部科学省 (2021) 「令和3年度学校基本調査」

注1) 専攻分野は「令和3年度 大学学部番号」の分類に基づいて算出している。このため、「全国」の数値は文部科学省が公表している「関係学科別大学入学状況」より算出される理工系分野入学者の割合とは数値が異なる。

注2) 大学入学者に占める理工系分野入学者の割合は、高校所在地県における大学入学者のうち、理学分野と工学分野に分類される学部への入学者の割合を示す。

出典) 文部科学省 (2021) 「令和3年度学校基本調査」

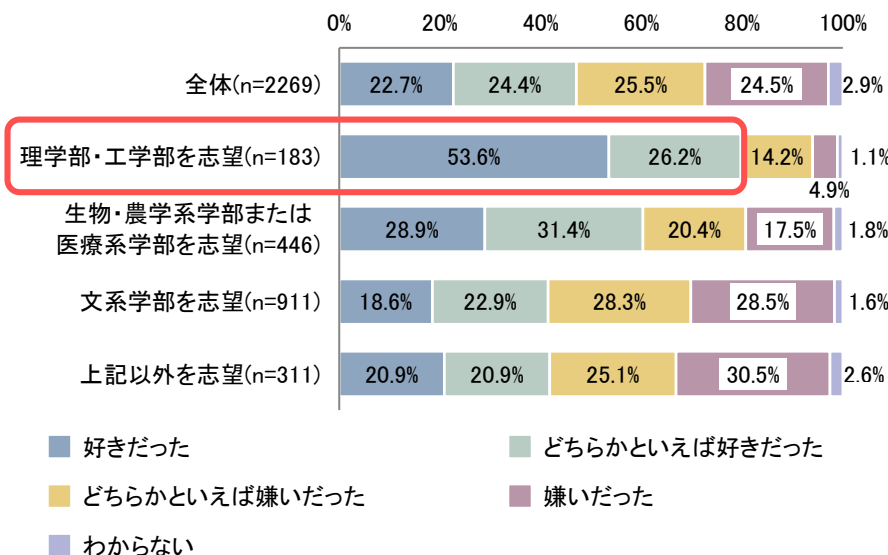
注1) 専攻分野は「令和3年度 大学学部番号」の分類に基づいて算出している。このため、「全国」の数値は文部科学省が公表している「関係学科別大学入学状況」より算出される女性比率とは数値が異なる。なお、「医歯薬学」と「その他保健」については、「令和3年度 大学学部番号」の大分類「保健 (M,N,O)」のうち、M01~M10、M16~M18、M48、M61を「医歯薬学」、その他を「その他保健」として分類している。

注2) 分野別入学者に占める女性比率は、高校所在地県における各分野への入学者のうち、女性の入学者の割合を示す。

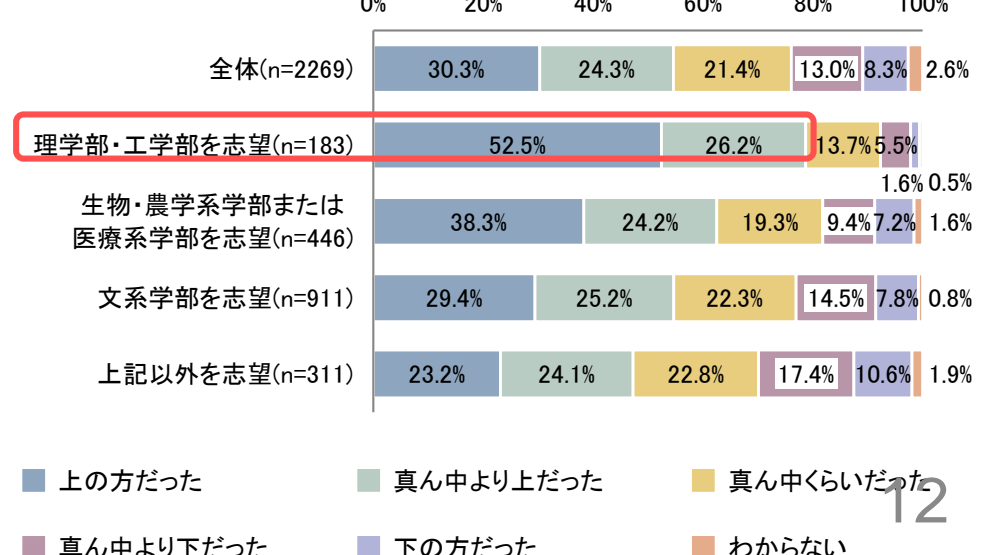
①女性の理工系分野への進路選択に影響を与える要因(まとめ)

- 女性の理工学部志望者は、**数学や物理が好きで、理数系の成績も上位者が多く、幼少期の科学館・博物館体験や大学や自治体のイベント等の理系的経験**が多い。理工系分野に興味を持つきっかけとして、理系的経験が寄与している可能性がうかがえる。
- 進路選択の理由として、**将来像が明確であるから、就職・転職に有利だから、将来高い収入が得られるから**など、理科学習に対する動機付けが高い。
- 保護者も理工系を専攻していた割合が高く**、生徒の進路について、保護者が理系進学を望んでいると認知している割合が高い。理工系学部出身の大人が身近にいることで、理工系の職業イメージが湧きやすくなったり、理工系への進学を勧められる機会が増えたりすることが、**理系に対する前向きなイメージ**につながっている可能性が考えられる。

希望する学部別
中学校の頃に「数学」が好きだったか (女性)



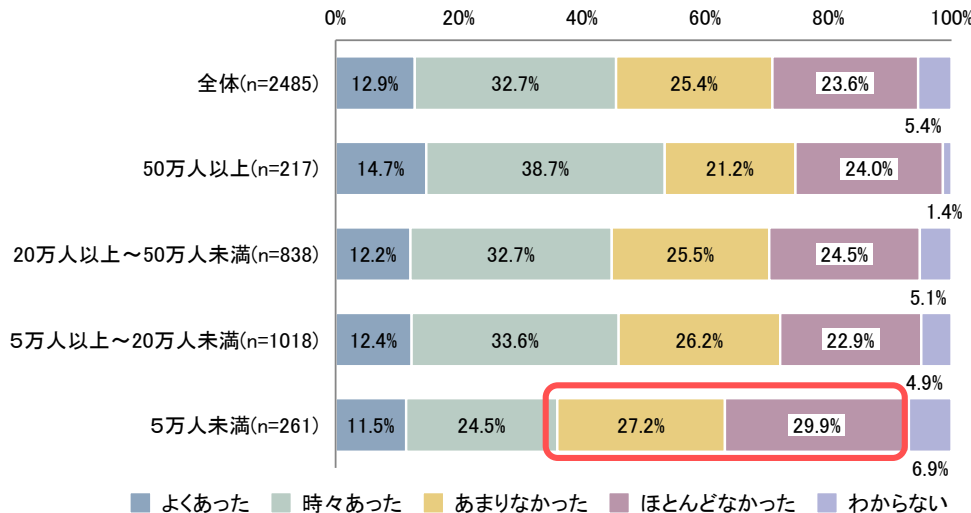
希望する学部別
中学校の頃の「数学」の成績 (女性)



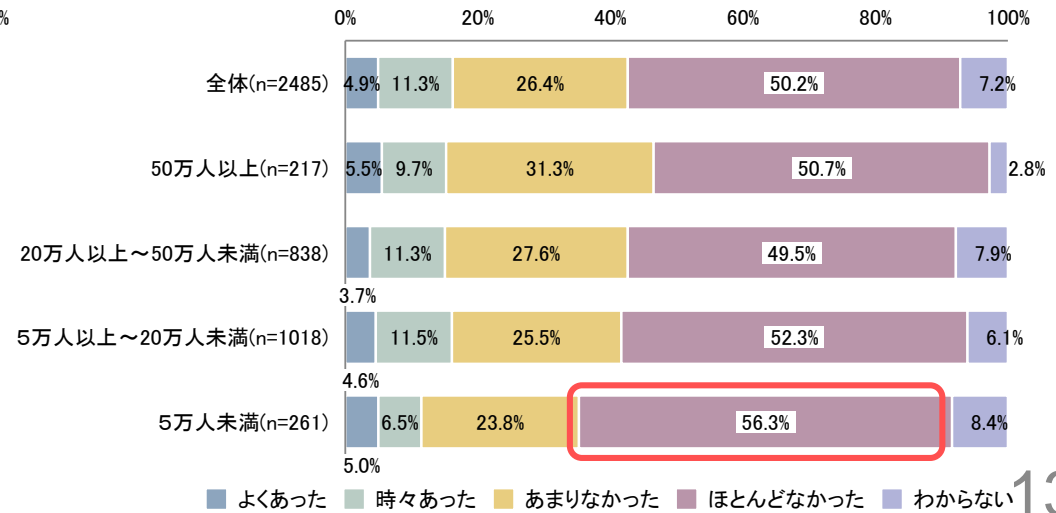
②理工系分野への女性の進学に関する地域性についての分析(まとめ)

- 女性の理工系分野への進路選択に影響を与える要因のうち、**教科・科目の好き嫌い**や**成績**、**理系のイメージ**等については、**人口規模による大きな傾向の違いはみられない**。
- 一方、幼少期の科学館・博物館体験や、大学や自治体などが主催するイベントへの参加経験等の**理系的経験**は「**5万人未満**」で少なく、**理工系に対する興味を深める機会が不足している**ことがうかがえる。
- また、**保護者の学歴**や**家庭の暮らしの状況**など、女性の4年制大学進学に影響を与える各種指標は、**人口規模が小さいほど低い水準**にあり、地域の社会経済状況が女性の進路選択に影響していることがうかがえる。

人口規模別
 「保護者に、科学館や博物館に連れていってもらったこと」
 があったか (女性)



人口規模別
 「大学や自治体などが主催する、理工系進学に
 関するイベント・シンポジウムに参加すること」
 があったか (女性)



- 女性の理工系分野への進路選択を促進するうえで、人口「5万人未満」の地域は相対的に課題が大きく、今後重点的に取り組むべき地域と考えられる。



➤ 「5万人未満」の地域における課題

- 進路に関して、近隣に大学等の高等教育機関が少なく選択肢が狭い。
- 地域的に、理系的経験に関する資源が少ない。（イベント等の開催頻度が低い、イベント等へのアクセスが悪い等）
- 家庭内に大学に関する有形無形の資源が少ない。（親世代における大卒者の比率が低い等）

- 「5万人未満」の地域において今後求められる取組として、大きく以下の2点が挙げられる。

➤ 高等教育機関へのアクセスの改善

（情報提供等を通じた、理工系分野への進学・職業イメージの向上）

- 生徒の進学意欲を高める観点から、理工系の学部で学んだり研究したりする内容の具体的なイメージや、卒業後の理工系分野での就職に関する情報提供を、中学生や高校生に対して積極的に実施。
- 家庭環境や居住地域により進学しにくい生徒に対し、大学進学及び入学後のサポート等を促進することも有効。



➤ 幼少期からの体験やイベント等を通じた、理工系分野への興味を深める機会の創出

- 出前実験教室やオンライン教室の開催のほか、スクールバス等を活用したイベントへのアクセスの向上。
- 5万人未満の市町村の児童・生徒が参加しやすいような工夫を講じるとともに、参加者の性別が偏らないよう、児童・生徒及びイベント登壇者の性別統計収集を必須とすることが望まれる。
- 市町村の協力体制の下、公民館等の地域の拠点を活用したオンラインイベント（パブリックビューイング等）の開催も一案。

文部科学省の取組

女子中高生の理系進路選択支援

趣旨

女子中高生の理系分野に対する興味・関心を喚起し、理系分野へ進むことを支援するため、科学技術分野で活躍する女性研究者・技術者、大学生などと女子中高生との交流機会の提供、シンポジウムや出前授業等の取組、地域や企業等と連携した取組などを実施する大学等を支援する。



R3年度採択: 5機関

函館工業高等専門学校、埼玉大学、お茶の水女子大学、東京薬科大学、同志社大学

R4年度採択: 11機関

秋田大学、福島工業高等専門学校、信州大学、滋賀県立大学、京都光華女子大学、四天王寺大学、徳島県立あすたむらんど子ども科学館、北九州市立大学、佐賀大学、熊本大学、琉球大学

支援金額: 150~300万円/機関・年
支援期間: 2年間

多様な背景を持った者を対象とする選抜の実施

■背景

- 形式的公平性の確保とともに、多様な背景を持つ学生の受入れへの配慮など**実質的公平性の追求が重要**
- また、多様な価値観が集まり新たな価値を創造するキャンパスを実現する観点から、各大学の創意工夫の一方策として、アドミッション・ポリシーに基づき、各大学が**キャンパスに多様性をもたらすことができる**と考える者を対象とする選抜を実施することも有効
- そうした選抜が実施できることを明確にするため、入学者選抜の基本方針である実施要項の入試方法に「**多様な背景を持った者を対象とする選抜**」を追加

■令和5年度大学入学者選抜実施要項（令和4年6月3日付文部科学省高等教育局長通知）（抄）

※令和7年度実施要項の予告として通知していたものを令和5年度実施要項から前倒して反映

第3 入試方法

1 (略)

2 一般選抜のほか、各大学の判断により、入学定員の一部について、以下のような多様な入試方法を工夫することが望ましい。

(1)～(4) (略)

(5) **多様な背景を持った者を対象とする選抜**

家庭環境、居住地域、国籍、性別等の要因により進学機会の確保に困難があると認められる者その他各大学において**入学者の多様性を確保する観点から対象になると考える者**（例えば、理工系分野における女子等）を対象として、**入学志願者の努力のプロセス、意欲、目的意識等を重視し、評価・判定**する入試方法。

この方法による場合は、こうした**選抜の趣旨や方法について社会に対し合理的な説明**を行うことや、入学志願者の大学教育を受けるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を適切に評価することに留意すること。

理工系の女子を対象とする大学入学者選抜の例（令和5年度入試）①

設置主体	大学	学部	学科	選抜区分	募集人員	出願期間	試験日	選抜方法
1 国立	富山大学	工学部	工学科(電気電子工学コース、知能情報工学コース、機械工学コース)	学校推薦型選抜	8名	令和4年11月1日～8日	令和4年11月30日 ※令和5年度入試より実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦書、調査書、志願理由書 ・小論文 ・面接(基礎学力に関する試問を含む)
2 国立	名古屋大学	工学部	<ul style="list-style-type: none"> ・電気電子情報工学科 ・エネルギー理工学科 	学校推薦型選抜	9名	令和5年1月17日～20日	令和5年2月12日 ※令和5年度入試より実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入学共通テストの成績 ・口頭試問による面接
3 国立	名古屋工業大学	工学部第一部	高度工学教育課程 電気・機械工学科	学校推薦型選抜	15名	令和4年11月1日～7日	令和4年11月23日 ※平成6年度入試より実施	<ul style="list-style-type: none"> ・書類選考 ・筆記試験(数学・物理) ・面接

注: ウェブ上に公表されている各大学の募集要項等の情報により作成

理工系の女子を対象とする大学入学者選抜の例（令和5年度入試）②

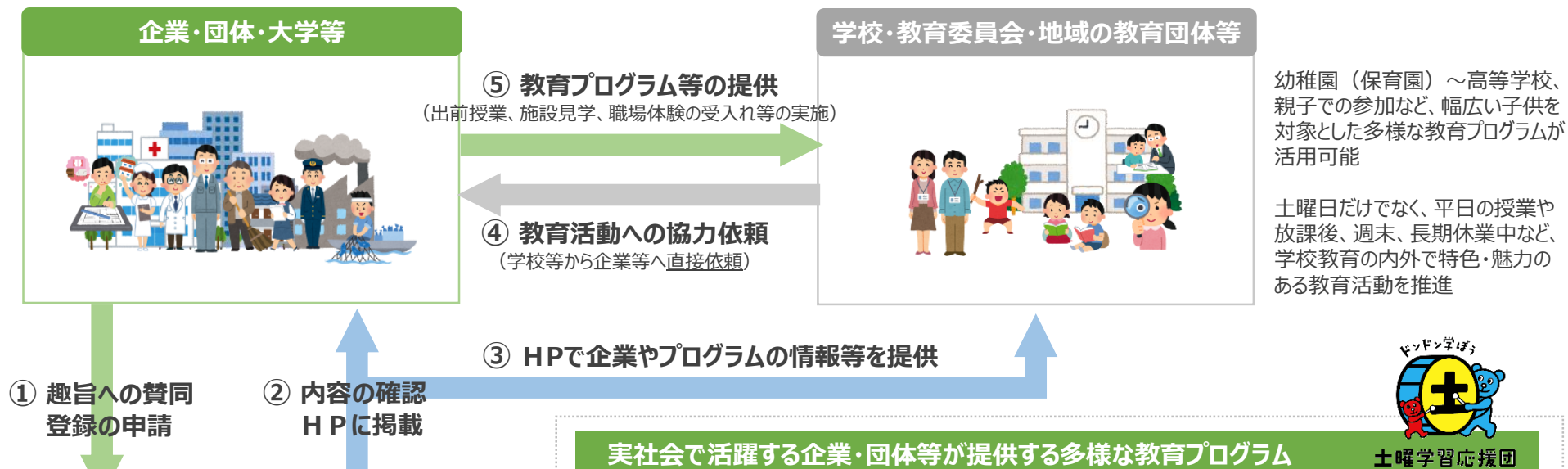
設置主体	大学	学部	学科	選抜区分	募集人員	出願期間	試験日	選抜方法
4 国立	島根大学	材料エネルギー学部	材料エネルギー学科	学校推薦型選抜	6名	令和5年1月23日～ 令和5年2月1日	令和5年2月8日 ※令和5年度入試 より実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦書、調査書、志望理由書 ・大学入学共通テスト（基礎的な学習の達成の程度をみるもの） ・面接
5 公立	兵庫県立大学	工学部	<ul style="list-style-type: none"> ・電気電子情報工学科 ・機械・材料工学科 ・応用化学工学科 	学校推薦型選抜	各学科 5名	令和4年11月1日～ 11日	令和4年11月26日 ※平成27年度入試 より実施	<ul style="list-style-type: none"> ・書類審査 ・適性検査（数学・物理・化学の基礎的素養） ・小論文 ・面接
6 私立	愛知工業大学	工学部 経営学部 情報科学部	全学科	学校推薦型選抜	37名	令和4年11月1日～ 4日	令和4年11月13日 ※昭和64年度入試 より実施	<ul style="list-style-type: none"> ・書類審査 ・小論文 ・面接（口頭試問を含む）
7 私立	芝浦工業大学	工学部 システム 理工学部 デザイン 工学部 建築学部	全学科	公募制推薦入学者選抜（女子）	64名	令和4年10月1日～ 7日	令和4年10月23日 ※平成30年度入試 より実施	<ul style="list-style-type: none"> ・書類審査 ・筆記試験（数学、理科（物理または化学）） ・面接
8 私立	大同大学	工学部 情報学部	全学科	総合型選抜	33名	令和4年10月3日～ 13日	令和4年10月22日 ※平成5年度入試 より実施	<ul style="list-style-type: none"> ・調査書、活動報告書、志望理由書 ・小論文 ・面接

注：ウェブ上に公表されている各大学の募集要項等の情報により作成

「土曜学習応援団」について ～企業・団体等の協力により、出前授業など特色・魅力ある教育活動を推進～

文部科学省では、平成26年（2014年）4月より、子供たちの豊かな学びを支えるため、取組の趣旨に賛同いただいた企業・団体等が提供する多様な教育プログラム等を「土曜学習応援団」として登録し、土曜日をはじめ、平日の授業や放課後、夏休み等に、出前授業や施設見学、職場体験の受入れなど、多様な機会を提供することで、特色・魅力のある教育活動を推進。

【仕組みの概要】



実社会で活躍する企業・団体等が提供する多様な教育プログラム

土曜学習応援団

取組趣旨に賛同する登録企業・団体数：922団体（令和4年9月30日時点）

【プログラムの例】

<化学>



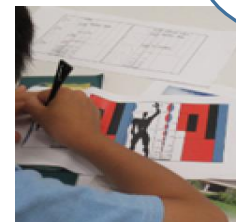
研究用の本物の機械・器具を使用して薬の成分の抽出

<IT>



プログラミング開発授業

<建設>



スマホとモジュールを活用して建築の寸法を決定

将来の職業やキャリアを考える上で参考となった！

社会や企業における課題を考えることができた！

文部科学省



文部科学省HP（学校と地域でつくる学びの未来HP）

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/program/index.html>

夏のリコチャレ2022振り返りと2023に向けて

夏のリコチャレ2022 ～理工系のお仕事を体感しよう！～

内閣府・文部科学省・日本経済団体連合会の共催で、夏休み期間を利用して行われる主に女子中高生等を対象とした、企業・大学・学術団体等のイベントを取りまとめて発信

職場見学、工場見学、シンポジウム、実験教室、先輩女性社員との交流等



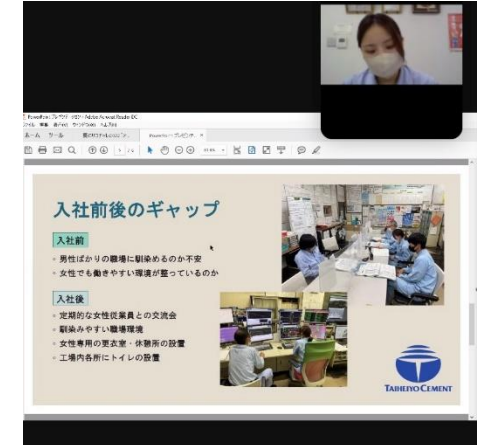
RIKOCHALLENGE SUMMER OF 2022



内閣府・文部科学省・経団連共催



こども霞が関見学デー「求む！未来の理工系女子！」
(株式会社エスワイシステム・内閣府男女共同参画局)



オンライン女性交流会～リケジョのお仕事紹介～
(太平洋セメント株式会社)



未来ひろがる産総研ラボ(産業技術総合研究所)



Girls summer Labo ハイブリッド(ライオン株式会社)

夏のリコチャレ2022 開催実績

●夏のリコチャレ2022 開催実績

参加団体数：92 企業：45 大学等：21 学術団体・その他：26

イベント数：162 オンライン：66 実地（オンラインとの併用含む）：96

参加者数：5,000名以上（アンケート提出53団体分）

【参考】

●夏のリコチャレ2021開催実績

59団体113イベント

6,300名以上が参加

- ・参加団体、企画されたイベント数ともに昨年度の約1.5倍。オンラインイベント主体であった前年に対し、実地開催でのイベントが大きく増えた。
- ・過去には多かった数千人規模や1万人超の参加者数を誇る大規模な実地型イベントは確認できない。

■事務連絡発出

- ・ 都道府県男女共同参画主管課（6/9）
- ・ 政令指定都市男女共同参画主管課（6/9）
- ・ 各都道府県教育委員会担当課（7/11）
- ・ 各指定都市教育委員会担当課（7/11）
- ・ 各都道府県私立学校主管部課（7/11）
- ・ 構造改革特別区域法第12条第1項を受けた学校設置会社を所轄する各地方公共団体の学校設置会社担当課（7/11）
- ・ 附属学校を置く各国公立大学法人担当課（7/11）
- ・ 各文部科学大臣所轄学校法人担当課（7/11）

■その他周知

- ・ SmartNews バナー掲載（7/18-24）
- ・ 男女局Twitter、Facebook（5/24,7/12,8/5）
- ・ 男女局HP トップページ掲載（7～9月）
- ・ 男女局メルマガ（7/22号,8/19号）
- ・ 男女局広報誌「共同参画」（7月号）
- ・ 文科省初中教育ニュース（7/22）
- ・ 文科省マナビィ・メルマガ（7/24）

■リーフレットの配布

従来行っていた紙リーフレットの送付を取りやめ、事務連絡発出先とリコチャレ登録団体宛にリーフレットデータを共有



夏のリコチャレ2022 アンケート結果 ①

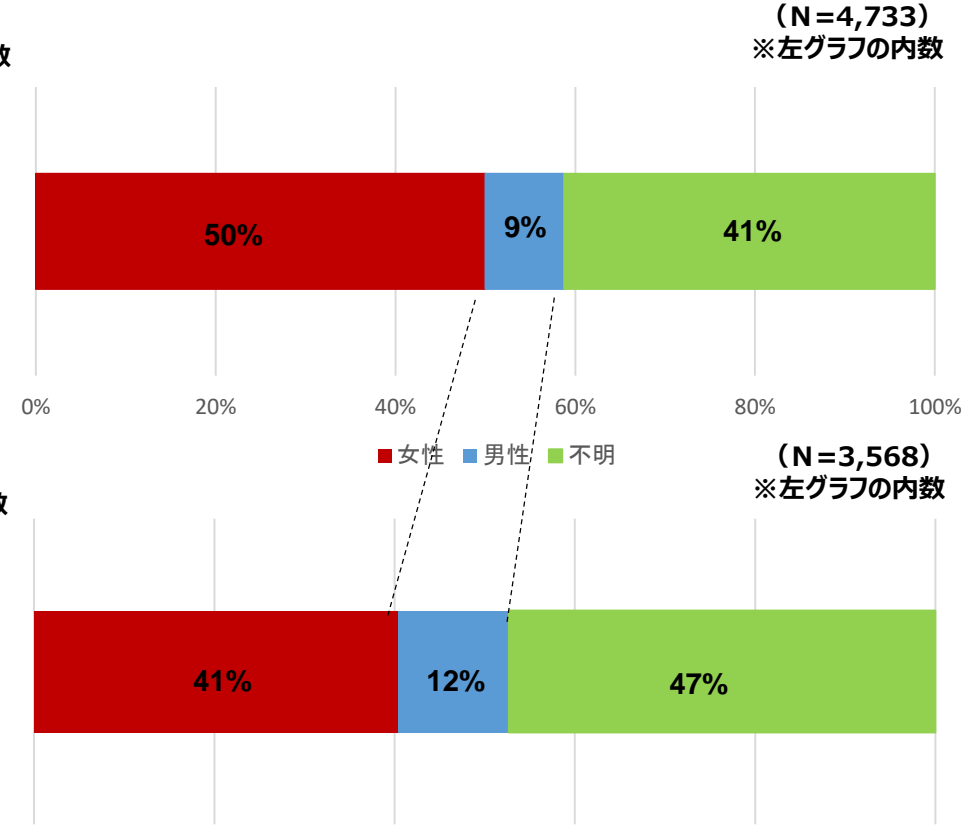
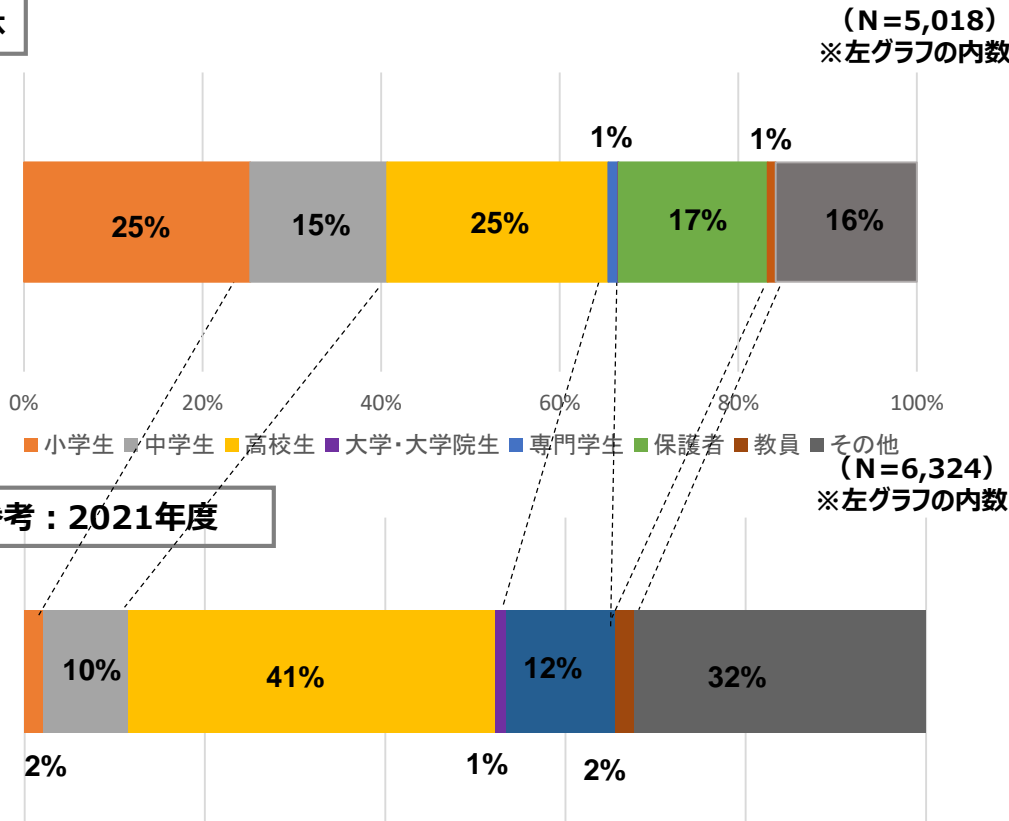
- ◆夏のリコチャレ2022イベント実施団体向けアンケートより、集計
 - ・アンケート対象：夏のリコチャレ2022実施団体92団体（うち、有効回答数53団体）

I. 参加者

年齢

性別

全体

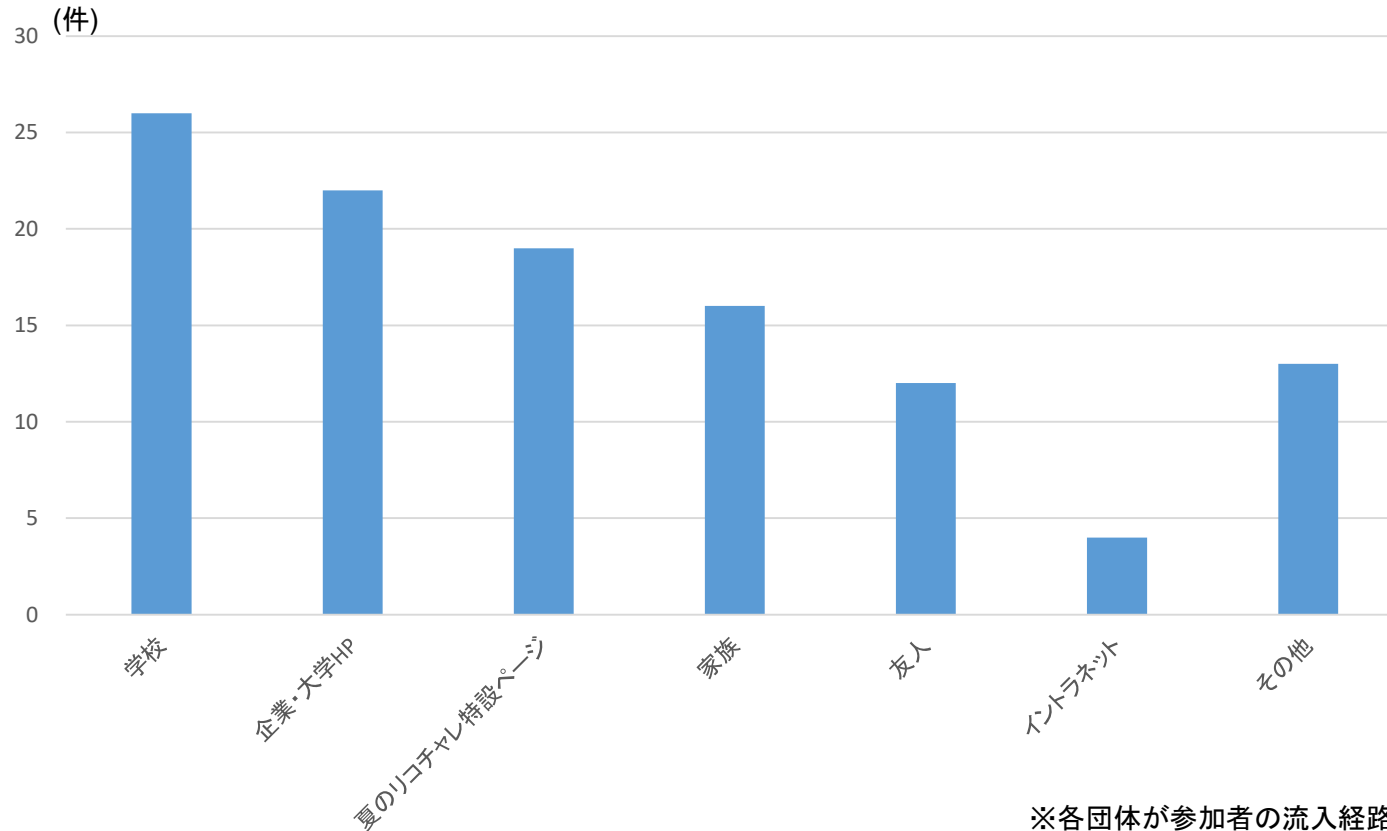


参加者の属性について実地開催率が増えたことにより小学生の割合と、同時に保護者の割合が増えた。また、女性の割合も初めて50%に到達し、リコチャレの主旨が企画へ浸透してきたと言える。

夏のリコチャレ2022 アンケート結果 ②

- ◆夏のリコチャレ2022イベント実施団体向けアンケートより、集計
 - ・アンケート対象：夏のリコチャレ2022実施団体92団体（うち、有効回答数53団体）

II. 参加者の流入経路



※各団体が参加者の流入経路として多かった上位3項目まで選択

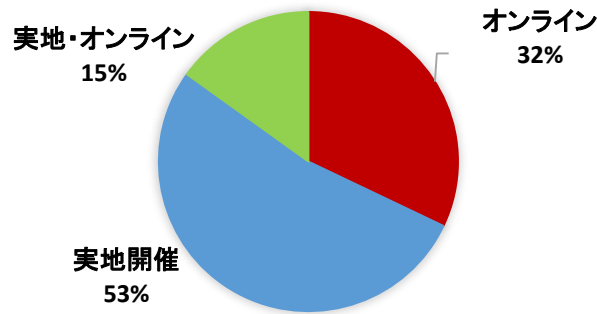
昨年とほぼ同傾向で学校からの案内が最も効果が大い。次いで企業・大学等HP、夏のリコチャレHP、家族、友人と続く。幅広く広報していく手法が有用と思われる。

夏のリコチャレ2022 アンケート結果 ③

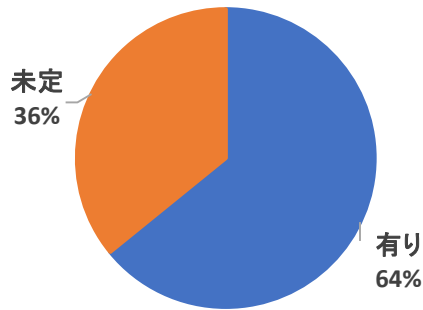
- ◆夏のリコチャレ2022イベント実施団体向けアンケートより、集計
 - ・アンケート対象：夏のリコチャレ2022実施団体92団体（うち、有効回答数53団体）

Ⅲ. 実施形態

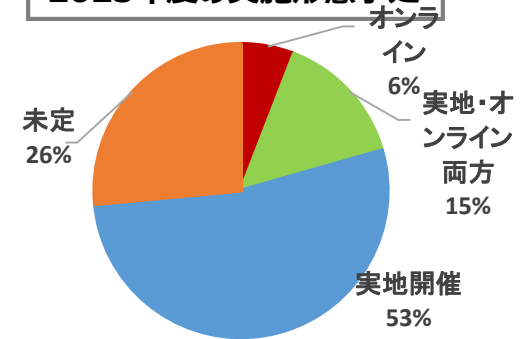
2022年度実施形態(団体別)



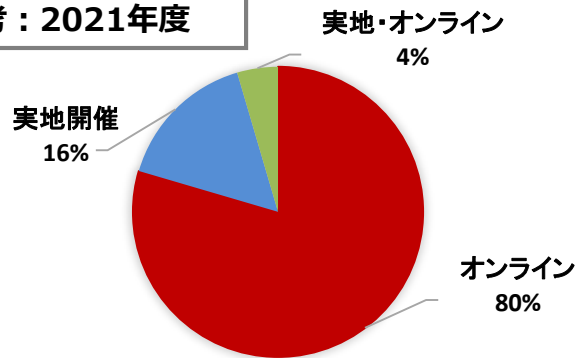
2023年度の実施予定



2023年度の実施形態予定



※参考：2021年度



2022年度実施形態	⇒2023年度実施形態予定	
	実地開催	20
実地開催	⇒実地・オンライン	0
	オンライン	0
	実地開催	0
実地・オンライン	⇒実地・オンライン	4
	オンライン	0
	実地開催	0
オンライン	⇒実地・オンライン	1
	オンライン	2

※2023年度の実施予定「有り」且つ2023年度の実施形態予定「未定」以外を集計

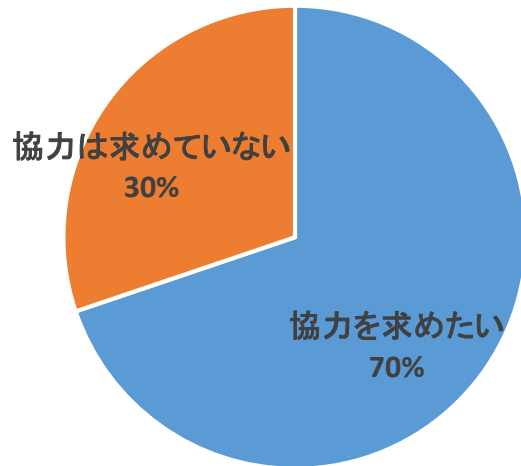
昨年はオンラインでの開催が多かったが、今年は実地開催が半数以上。
ハイブリッドなどオンラインでの工夫を活かした開催も増えた。

夏のリコチャレ2022 アンケート結果 ④

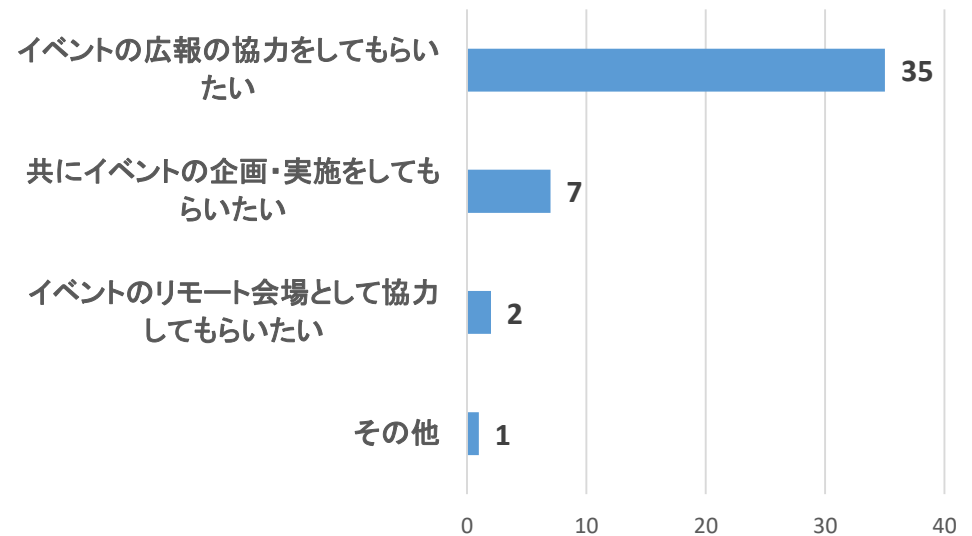
- ◆夏のリコチャレ2022イベント実施団体向けアンケートより、集計
 - ・アンケート対象：夏のリコチャレ2022実施団体92団体（うち、有効回答数53団体）

IV. 自治体との協力

自治体への協力希望



希望する協力内容

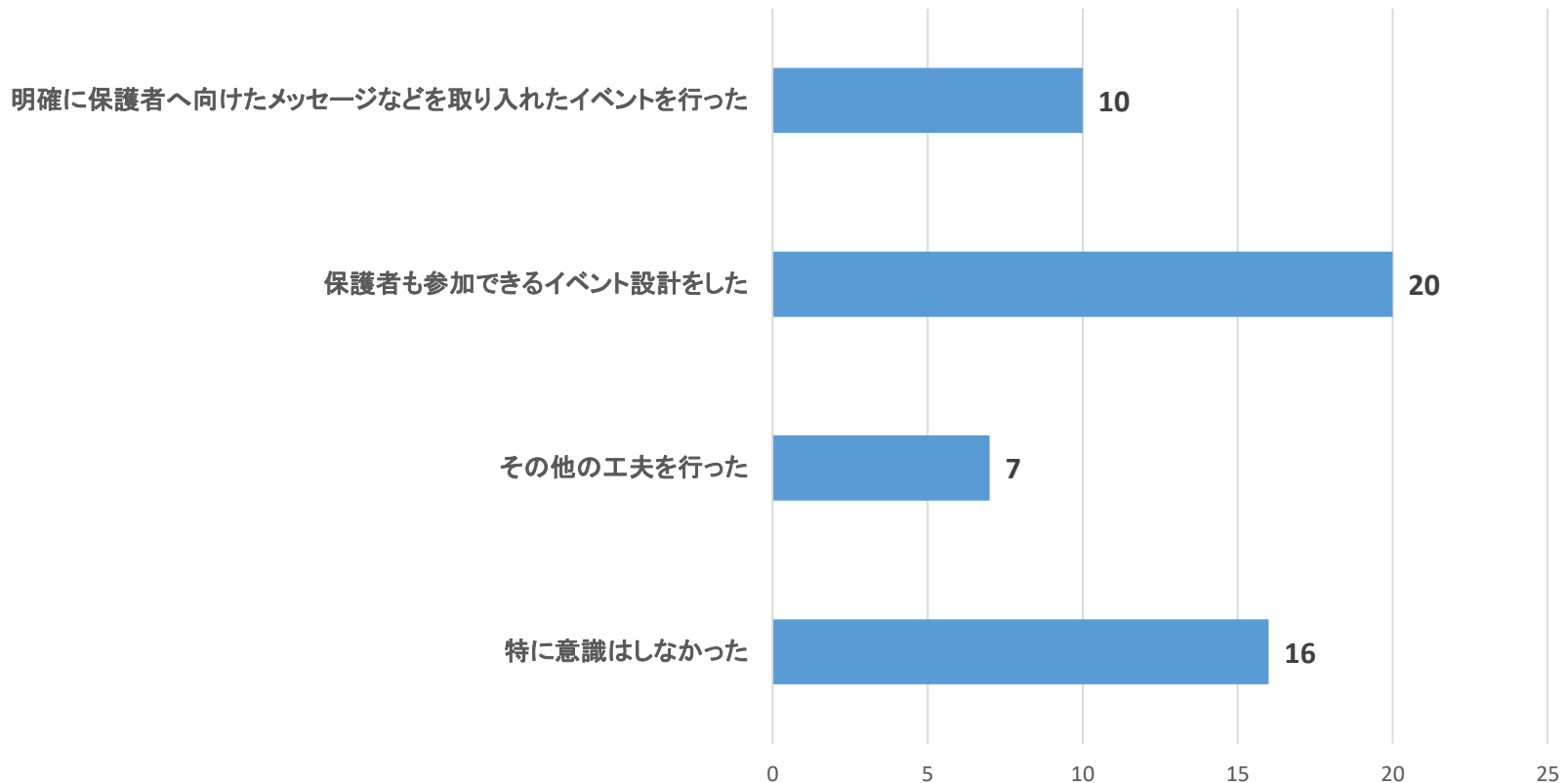


7割の団体が自治体からの協力を求めたいとしている。
特にイベントの広報の協力が期待されている。

- ◆夏のリコチャレ2022イベント実施団体向けアンケートより、集計
 - ・アンケート対象：夏のリコチャレ2022実施団体92団体（うち、有効回答数53団体）

V. 保護者を意識したイベント

保護者を意識したイベントの工夫

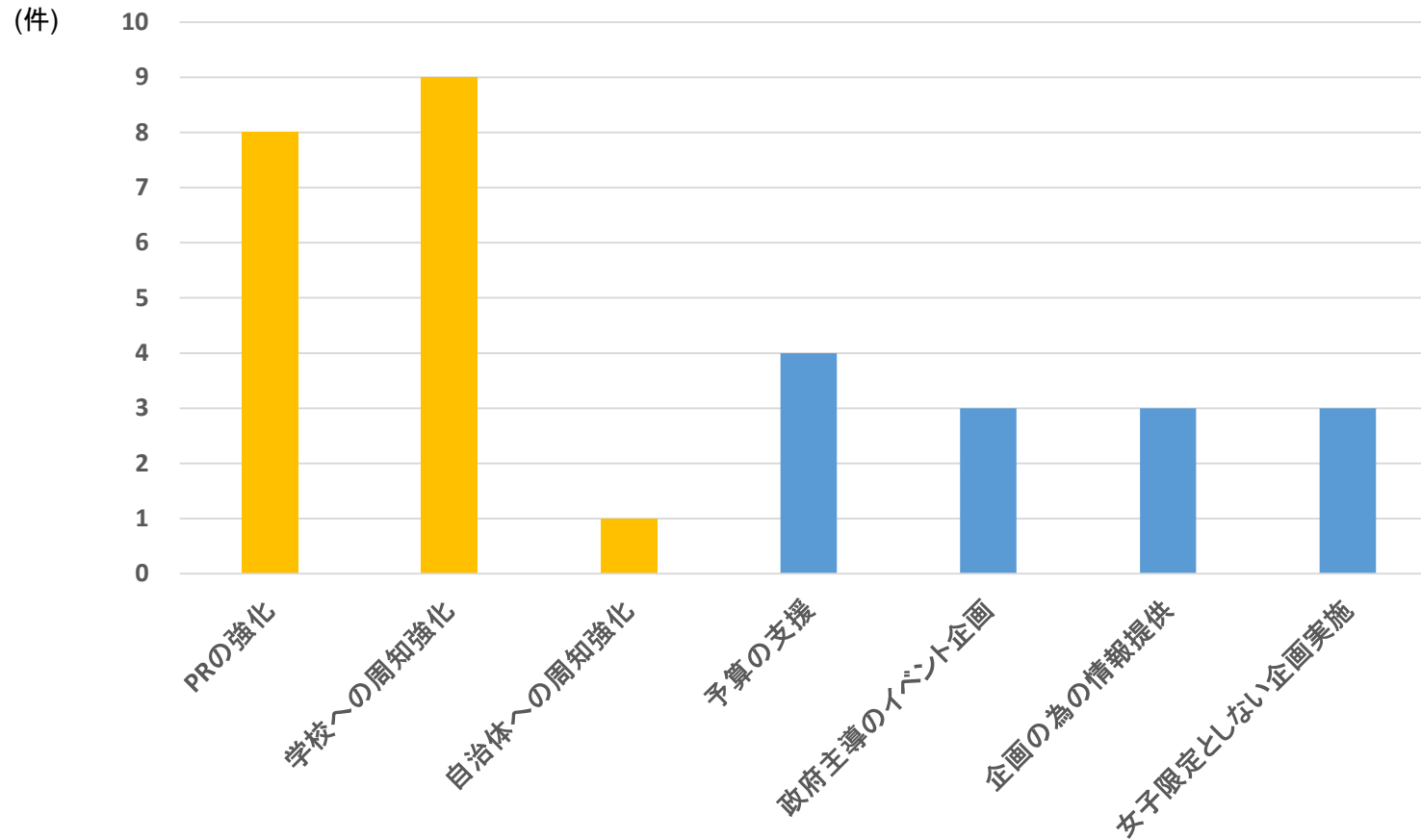


保護者も参加できるイベント設計や、保護者向けの積極的なメッセージも取り入れられた。一方で特に意識をしていないイベントも少なくない。

夏のリコチャレ2022 アンケート結果 ⑥

- ◆夏のリコチャレ2022イベント実施団体向けアンケートより、集計
 - ・アンケート対象：夏のリコチャレ2021実施団体92団体（うち、有効回答数53団体）

VI. 内閣府・文科省・経団連への要望



政府による広報活動、特に学校への周知強化の期待が特に大きい。
企画のための様々な支援の要望もあり。

VII. 参加者の声（一部抜粋）

企業

- ・案内してくれた方が凄く優しく、分かりやすく説明して下さったのでとても良かったです。 **先輩社員さんのとても貴重なお話も聞いてよかったです。**
- ・ちょうど将来どのような職に就こうか考えていたのでとても参考になりました。受験勉強をしていて、色々な面で不安になっていたりしていましたが、 **自分がやりたいことのために勉強して大学に入ろう**と思いました。
- ・建設業は男性のイメージが強かったけれど **女性が増えていることに驚きました。**
- ・ **普段学校では体験できないこと**を体験できよかったです。
- ・土木や建築について、あまり関わりが無いと思っていたが、 **説明を聞いて身近に感じ、興味深い**と思った。
- ・先日体験できたことを胸に、様々な問題に皆さんと違う位置からも挑戦できるように今好きなことや得意なことをどんどん勉強して自分にしかできないことを極めたいです。 **将来について考えさせてくれる時間**を用意して下さい、本当にありがとうございました！
- ・ **自分の考えを形に出来るっていいな**と思った。日々の生活を設計という形で支えるのもいいなと思った。発表してまわりの反応も見ていておもしろかった。
- ・工学系の企業での仕事の様子がリアルに知ることができて、 **理系に進んだ後のイメージが掴めてよかったです。**理学系を考えていましたが、仕事の様子や、座談会で進路決定のきっかけ、 **実際に働いている方の意見を聞いて工学系もとても楽しそう**に感じました。

大学等

- ・責任ある立場でありながら、 **育児と仕事を両立されている卒業生の方のお話**を聞いて励みになりました。この先就職しても、産休、育休などで男の人に遅れをとってしまうのでは、それどころか、積み上げてきたキャリアが台無しになってしまうのでは、と不安でしたが、今回のお話を聞いて必ずしもそうではなく、 **本人のやる気次第**な部分もあるのだなと思いました。非常に良い経験になったと思います。
- ・進路の相談をしたとき、 **どの道を選んでも後悔しない**からまだゆっくり考えたいと言ってもらい、今まで「これから先の進路で人生が決まる」と焦っていたけど、もう少し気軽に考えてもいいんだなと思えた。
- ・娘が、大学の研究室の、 **特に理系の雰囲気**を肌で感じる事ができ、大変有意義に過ごさせていただきました。娘は現在中学2年生ですが、数年後の高校生での文系理系選択までに、今回のサマースクールの様な経験をたくさんできればと考えております。
- ・まずは文系か理系かを決める助けが必要で今回のイベントに参加した、もともと理系に行こうかなと思っていたけど数学が苦手、学校の先生からも文系を勧められていたけど、今回お話を聞いて **自分のなりたいたいのものを再確認**することができ、理系に行きたいなと思った。
- ・親として共に文系で不安だったが、娘の興味を尊重し、 **理系進学を安心してフォロー**したいと思えた。
- ・ **大人も子供も初めて知る話が多く、みんなで楽しめました。**親子で大学の講座を聴講できたのは、とても貴重な体験で、良い夏の思い出になりました。

学術・研究機関、行政機関等

- ・楽しかった、 **今までよりもっと理科が好きになった。**
- ・ **分野の違う方々の貴重な話が聞けた**ので、役に立った。チャットだったので、質問しやすかった。
- ・ **保護者にも、大学の先生のお話を聞く時間が頂けた**のは大変有意義でした。
- ・親子で将来の仕事について話を一緒に聞くことができよかったです。 **親が思うより子どもは案外しっかり考えを持っている**ことが分かった。
- ・現場を見学させていただけたことで、 **実際に行われている業務を想像しやすく、理解を深める**ことができました。